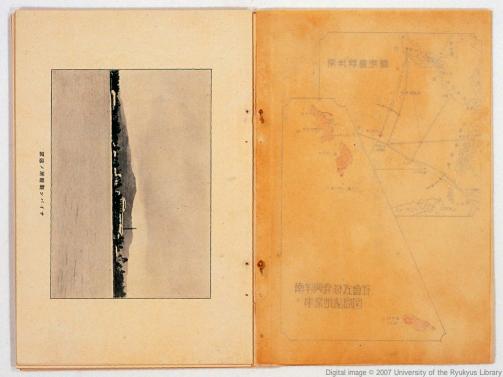


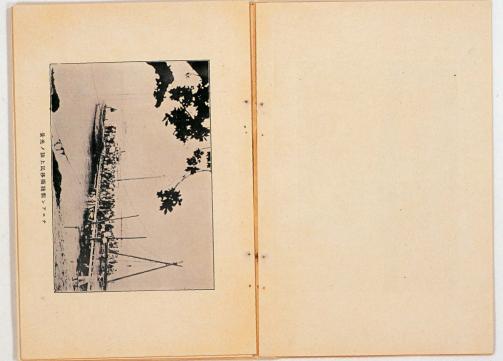


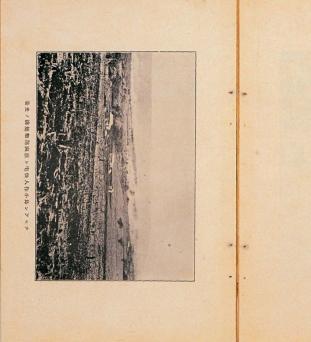
南洋興發株式會社の現况裏南洋開拓と

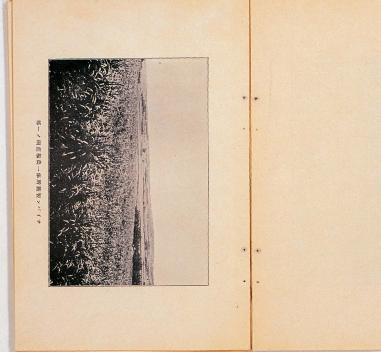
HARTERIA BERKEYE





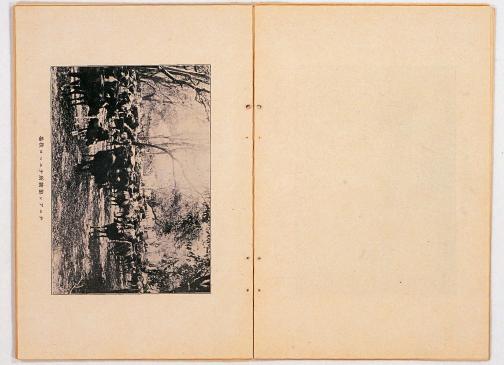














 裏南洋開拓と南洋興發株式會社の現况

水 就被及時間組具 人、水源為の影响と四個的關 大、群 單 の 游 郊 大、北 會 的 超 膨 英 斑 般 既

美商洋閥指と南洋興養株式會配の現況

裏南洋開拓と南洋興發株式會社の現况

一、會社成立の經緯

を目論見たるものなり 式會社及南洋殖産株式會社にして、兩社は何れもサイバン島に於て製糖又は棉花栽培 其實行に着手するもの甚だ多く、其等の内當社の成立に關係あるものは、西村拓殖株 隊を騙うて裏南洋群島を占領し、之に軍政を布けり。當時恰も内地財界は頗る好潮時 代に在りしを以て、企業家にして此の新占領地に渡航し、各種の事業を計畫し、或は 大正三年世界大職勃發するや、我國は聯合與國として參戰し、我海軍は獨逸東洋艦

かりき。其の原因として敷へらるゝは第一舊式の赤糖工場なりしため生産費大なりし り招致し、諸般の設備を整へて事業を開始したれども、遺憾ながら成功を見るに至ら 而して阿社共第一着に製糖事業に手を染め、先づ其蔗作に必要なる移住者を内地上

バン島の移住者は其の日の食糧にさへ窮迫し、 の本城を死守するに急にして、他を顧るの餘裕なきに至り、 を派し調査を重ねたるも、右西村拓殖、南洋殖産同様の事情と更に島嶼小にして大組 東洋、 方面に不利多くして經營困難なるべしとの事由により何れも考慮中なりし折柄、 線工場建設の不利にして且事業開始するも 勢働者の 需給其の他の關係より、 農場鐵道 むなきに立到りたり。其の間偶々原料政策に苦みついありし臺灣糖業界の雄、大日本 は兩社の金融全く梗塞し、爲めに事業も殆ど休止の狀態となり、次いで全く抛棄の止 て努力せし事業も意氣昂らず、加之彼の大正九年に於ける財界の恐慌に遭遇して以來 第三初めより資金難に苦み意の如く活動出來ざりしてと等にして、萬里の波濤を超え てと。第二共の製品は外國領土の産品として内地に於て關税を賦課せられたること。 財界の不况は益々惡化し、 明治、鹽水港の諸會社は好况に乗じ、事業の發展を計る可く南洋諸島に社員 金融梗塞其の極に達し、臺灣諸會社も最早や各々其 一滴の醬油さへ無く、海水を以て之に 斯くして千名に近きサイ 糖價

至り西村拓殖並に南洋殖産兩社の事業が速かに復活するか、然らされば新事業を興す 職り殆ど圣滅となり、生活資源は全く杜絶し、窮况見るに忍びす全く前途暗憐たるに 充つるの惨狀を呈するに至れり。加ふるに島民の主食物たる椰子は、 にあらざれば住民全體は生活の危機に陷ることゝなれり。 貝殻虫の被害を

0

L

に當ることうなりたり。 しむるは妥當ならずとし、中央常局に斡旋し、 るに過ぎず、数に於て南洋廳は統治上より見て之が救濟策として唯罪に移民を暗遺せ りたる際とて、二百三十萬國の負債を負へる兩會社を繼承するものなく、徒に日を經 兩社は局面の展開を計るを急務として各方面に奔走せり。 遂に東洋拓殖株式會社之が積極的救療 然れ共財界不况の成に陥

る切迫し、 手には尚相當時機を計るを策の得たるものとの見解を有せしも、前述の如く 初め東洋拓殖に於ては、 事全鳥民の安危に關するのみなちず、滋いては委任統治の成績にも係り、 是が救済たるや多大の犠牲を排ふの覺悟を要し、 事態は頗 事業の着

事業着手を敢行するに至れり。此時恰も移住者は其食糧缺乏の極に達し將に飢餓に瀕 を派して實地調査を行はしめたり。 せんとする狀態なりしを以て、同社は不取敢食糧米の供給を爲すと同時に、 事態なしとせざるものあるを以て、同社は南洋廳の存意を諒とし、犠牲を忍び直ちに 此時機を逸せんか由々しき社會問題を誘起せしむる虞あり、更に統治の根底に觸 一面社員

を機承し主として東洋拓殖の投資により南洋興發株式會社は成立する事となれり。 調査の結果成案を得、兹に南洋廳の特別援助の下に西村拓殖及南洋殖産南社の

、資本と株式

發株式會社と改稱し、同時に南洋殖産の事業一切を金五十萬圓を以て買收職承の上、 大正十一年一月東洋拓殖の救濟に當り、資本金五十萬圓全額拂込に減資せる上南洋興 西村拓殖は営初公稱資本金五百萬圓內拂込高百五十萬圓を以て創立せしが

株を發行したる為、資本金二百六十萬圓全額拂込となりたり。 を附したるも、昭和三年三月此乙種株の整理をなし、 株に對し、一割二分以上の配當を爲し、尚剩餘ありたる場合に於て配當を爲すの制限 し乙種株に對しては當會社が積立金四十萬圓に達し且新規投資に依る甲種株四萬四千 まり継承せる権利及施設に充用せられたるものにして前者を甲種株、 受の四萬四千株は新規教資に係るものなるも、他の二萬六千株は西村拓殖及南洋殖産 資本金三百萬側に増資也、全額拂込とせり。而して岩三百萬圓六萬株の內東洋拓殖引 他の株式と同一内容の株式八千 後者を乙種株と

手したるものなり。而して昭和三年テニアン島事業開始に當り、 く、依て東洋拓殖より二百餘萬圓の長期借入をなし、之を以てサイバン島の事業に着 二百萬國の内より更に舊西村柘殖より引受けたる債務等を控除する時は殘餘幾何もな 百二十萬圓の内より、南洋殖産買收金の内現金を以て交附せる二十萬圓を差引き僅に 之より先東洋拓殖の投資に依る會社の甦生に際しては其新規投資額四萬四千株、 社内餘裕金を以て所

要査金に充當せるの外、更に東洋拓殖、安田信託等より二百三十萬間の借入を爲した し、此の新株に對し一株三十圓の拂込となし、主として前記テニアン工場建設に依る るも、昭和五年四月資本整備の必要を威じ、新に四百四十萬圓八萬八千株の埼資をな

の全地のですり

可以計中·於 公稱資本金 七百萬四

〇全世一收卷二十一位是四十

投資し居れり。 ・投資。前能拂込資本金及借入金七百二十四萬圓及諸積立金等を以て大略左記の如く

の柳柳的谁力

去心理不许

· 流水出版土 彩為電影地以外以及以及水色水色水 二、一九六、二二二十年以前與新田本等

0

.

船舶及什器 路貸付金 三、五一六 七五五、四九四 九、七二九、九三八 八一七、七六八

計は一萬餘町歩に及ぶ。此群島の地層は概ね火山性隆起珊瑚礁より成り、大部分未墾地 。氣候は勿論暑氣高さも、時々驟雨の襲來により凉風一過之を調節し、殊の外凌ぎ易 にして、一部旣墾地も共年數淺く、窒素、燐酸及石灰分豐富にして地味甚だ肥沃なり。 事業地はマリアナ群島の内サイバン、テニアン及ロタの三島にして、其借地面積の合

するものあり。 り。誠に天惠の豊かなるに威謝すべく、此のために事業遂行上受くる利益は計算を絶 間は作物の耕種と成長とに適し、乾燥期に於ては之が收穫並に工場作業に甚を便利な し。又一年は雨期と乾燥期とに分れ、雨期は凡そ七月より十一月迄の間にして、此期

は道路を整備せし程度にして、單に政治的領有と稱し得るに過ぎざりし親あり。 土と称するに止まり、何等産業的に見る可さものなく、僅に椰子の栽培を漿励し、或 ・南洋群島は往時西班牙の領土たりしが、米西戦争の當時獨逸之を買收せしも、

富なるが爲め、自然勞働を要することなき結果は、概して懶惰たるを発かれず。 度鑑に商礼。其性質共に温厚にしてローマン、カトリック教を奉ず。唯天與の餘りに豐 血種族なり。チャモロ族は洋式の生活を爲し、裸身生活を營むカナカ族に比し生活の程 ・島民にはカナカ、チャモロの二種族あり。前者は固有種族にして、後者は歐人との混

内地との交通は、横濱(又は神戸、門司)より南航、小笠原島を經で五日乃至六日

最性 百五〇十十大个艺不

0

是电馬田 の航程にして、日本郵酬会社の月二回乃至三回の定期船あり。現在寺港するは三島の

内サイバン、テニアンの時島のみなれども、各島間の聯絡はは我肚有船あり

代地計

**********||船の借地而務約三千町歩此處は本社遊は第一工場を設置す。 一隻 英契和 | に山脈あり、遠賓頂と稱し、溪流清く樹木繁茂し、景色佳し。總可耕地六千町歩。我 サイバン島、三島の内最も内地に近く、最も大なる島にして、廣袤十二方里。中央、大学になる。

全部を借地し、第二工場並は三百餘町歩の收場を設く。 |バン島の如く高峰なく、二段の卓子耕地をなし居れり。總可耕地約七千町歩はして共 テニアン島。サイバン島の西に隣し指顧の間に在り、約九方里の廣袤を有し、 サイ

• 元子信地中 受信地など

島寺コー

(五言年報

白田我松君さず~ 宇有地, 割合 页(三注) ||丁中四百町歩。棉作及地廠の試作を爲し、一部を牧場として利用しつゝあり。 ロタ島。 サイバン島より西方六十海里の地點に在り。可耕地約四千町歩。我賦借地

·新花代

すべいサイヤン、男はったこうです すっていらつてき、全社機地中の島子白山 四 業 の種 類

五十十二十二十五 THE BUILD

> 一個市田 ~的安地一卷

> > Digital image © 2007 University of the Ryukyus Librar

會社として通ずる模様あるも、若し之れがため前に掲げたる我社の大目標を没却せら 功したるものは、製糖事業並に之が附帶事業たる酒精製造にして、我社は一口に製糖 **營む所の事業は畢竟するに之が手段たるに外ならず。 其等の内最も力を注ぎ又最も成** 我社は南洋群島の經濟的開發並に南洋文化の建設を目標とするものにして、我社の

我社の營む主要なる事業を列撃すれば左の如し

るゝ事あらば、そは必ずしも我社の本意にはあらざるなり。

一、拓殖移民

一、土地經營、甘蔗栽培共他の農業

一、製糖、酒精製造、製酒、製氷

一、鐵道運輸

一、牧畜、養

一、棉花栽培 後

一、物 品 販 賣

前記に附随したる業務

五、事業概况

所なり。 して基礎確立し、今や成績大いに見るべきものあるに至れるは、誠に欣快に堪へざる 以て、事業上豫期せざる諸般の障碍に逢着し、大なる辛酸之に伴ふを常とせり。たべ 同時に鍛ね行ふを要し、加ふるに絕海の孤島にして交通に、通信に、頗る不便あるを 質現する所のものは總て新事業新經驗なり。されば之が施設には悉く試驗と質行とを 業に從ふもの不撓不屈、只管國運の發展を庶幾し、努力を重ねたるを以て創業三年に 外なく、從つて我國產業更上斯る熱帶地域にて行いたる事業の例なく、我社の企劃し 我帝國の領域中臺灣は亞熱帶に在り、赤道直下真の熱帶圏内にあるものは本群島の

移住者。 島民の人口は至つて稀薄、且つ労働能率低さを以て、此群島に於て事業を

の七作人。黄作斤

在集方機 村花はなるまる、新報日本作りで

老在金子

台安全,五刊

に健全なる者を嚴選の上採用す。 集を行ふ。主なる募集地は沖縄、鹿兒島、福島、 起さんとするには勞働力の招致を第一要件とす。されば我社は直營事業として之が募 の自由其北方、尚は スンナラ 山形、八丈島の地方にして、心身共

移住者は一定の勢働に從ふ現業員及人共と、廿蔗栽培を經營する小作人とに分る。

● 東西を示す。主を貸付し、又牛車共他の現物貸付をも得す。人夫は宿舎を支給せらるゝ外一定の日輪 を受くるものにして、小作人は草身者三町歩、夫婦者五町歩の標準を以て耕地割當を |付し、且小作人に對しては着島後更に農舍の建築、農具の購入共他耕作に要する資金 受け獨立の計算に據るものなり。 而して此等移住者に對しては、出身地よりの波航費及支度料等一人は付百回以内を貸

内野が後のカヤ・

「五一年校 更一五

南谷京一三五 福室 製新 立権をなす如し。 助也一全社中 *場を持しけけらある。尚サイハン、ラニアン南島を併せ、 小作人は現在サイバン島六四六戸(外に社外及島民旗作人一五一戸)テニアン島五 7の野子美面在一下,住了ヤ? 移住者の出身地方別數を示せば左の 明七二統稿 七七年 年安校 军五方田书一大教主

(の生港地下上午日十つ

己十 実施を上のかけつしたので

中經濟人居住米您 然在七大了上一大田で 世代松福 心中以完十 西村の京中性野人」人に 從業員出身地方別內譯表

成人的三中位

(家族を含まず) (昭和五年十二月末現在)

松土花松

のおっといるよ 白的粉点,

05%	1.19			1	200	-			21		18 .
1			東	九	四	中	關	關	八小	神	地方
計			北	州	國	國	西	東	文 原	繩	81
T.	(島田			地					地	地	從
1	思	鲜	方	ガ	方	方	方	ガ	方	ガ	樂別
三二七	出業四周の出口	一六		四八		八	四	五	110	一八九	現業員
一、二大五	計画の世 三大	明灵·林浩·始·六	二八	一〇五	中三百百五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	全线图题至 人	THE RESERVE A PERSON	Ħ	一五七	七二八	農場蔗作人
二二、大田二	110	外の国際で一七	九二	110	此内容和出	L	III SAME TAKE	四	110	二、三七五	雜 工場、鹼道、農
四二二二	图0	三九	J IIIII	二六二	九	11	七		一九七	三、二九二	計

あんれていかからいつ

白山村民一件地上初日

の既中でヤイ、 ~十五十八七日北 ラだのなのか・ナマン

さんなり

を算するに至り、土着島民の約三倍强に相當す。 此等は家族を伴ふ者多數なるを以て、之に家族數を加ふるとさは質に一萬二千有餘人

歩を除き、他は全部産園にして適宜休閑地を設けて輪作制を質施せり。 町歩、テニアン島に於て現在約三千二百町歩なり。此内移住者の野菜園其他約三百町 て、其後千古斧鉞を加へざる密林を開墾したる面積は、サイバン島に於て現在約三子 耕地。サイバン島に於て西村拓殖及南洋殖産時代に開墾せしものは約九百町歩にし

Digital image @ 2007 University of the Ryukyus Librar

收差二卷分下了 たいまなが、なら犠牲を排ひ努力を重ね來れるなり。 みついあり。然れども事妓に達する迄には、害虫に對する天敵の輸入等を始め幾多の し居れり。此等の品種に更に改良を加ふる爲め、試験地を設けて不断の試験研究を積 に就き数十種を栽培比較研究の結果、殊に此地方に適する優良品種二三を發見し栽培 **谯園。此地力の氣候風土は廿旗栽培に最も適し、我社は瓜哇種、臺灣種、布哇種等**

の会北十作人上自

由井社カンテ

*** | 牧量は共成績の良好なるものにありては、無肥料にて町常十二萬斤以上に達するも

と の以何だっド の殿は伝教を記させること、一〇の 性まやマ

20

*

、平均九萬五千斤內外にして、小作人は其平均二割を小作料として會社へ納入し、其 護を旨とし居れり。 は、年々買收價格を協定し、南洋廳の認可を得て決定し、専ら公正を期し、農家の保 他を會社へ賈渡すものにして、我社は此小作人及島民の生産したる甘蔗を買收するに

の被西ニコストスと

。州でをがき、年の辛苦酬いられたりと謂ふべし。 ◆祖輕製片 力? 掩御鐘気・トキハ 作る元年文七 利をうすうながっ 科特 ~ 書其他各種の支障に依り、歩留低かりしも次第に成績を上げ、 - 工場。サイバン島に於ける 一ケ年の甘蔗生産高約三億萬斤、 以上を生産し、製品の内地市場に於ける格位は臺灣一流會社の優良品と同位なり。多 哩、工場は獨逸製一千二百噸工場にして、大正十二年より製糖に着手し、 現在は一ヶ年三十萬擔 之が運搬用鐵道五十餘 初年は病虫

3.科介一全体で 人及在古中 一会社员也也,七作 して、甘蔗運搬用鐵道は三十餘哩に達す。 昭和五年初頭完成したるテニアン島工場は、 サイ 25 ン島工場と略同 能力のものに

斯くて兩工場よりの生産高を合するときは、 年額六十萬擔以上の砂 糖を生産するこ

(一相多)

酒精宏奏,

品は大部分内地に移出し、臺灣一流品と聲價を同じうせり。 • 酒精。大正十五年サイバン島に新式酒精工場を建設し、製糖制産物たる糖蜜より酒 精の蒸溜を開始し、一箇年に九十四度の工業用酒精約八千石を産出するに至れり。製

N.

のものなるが故に、今後益々増殖を聞る豫定なり。 く加ふるに粗食に慣れ、而も牛舎の設備なく放牧の儘にて張壯を維持し得る特種優良 **酸け、種牡牛を始め現に約三百頭を飼畜しつゝあり。本島牛は炎熱に克く耐へ、力強** ・牧牛。耕耘用、運搬用、役牛飼育の目的を以て、ラニアン島に約三百町歩の敬揚を | 又酒精を原料として焼酎、其他の混成酒を製造し、南洋方面の需要に應じつこあり。

育を疑勵しついあり。現在約四千頭、今後益々繁殖する見込なり。 ・養豚。農家の副業として最も格好なるを以て、我社は直營とせず、 小作人に之が飼

・棉花其他。サイバン島、ロタ島に於て棍の試作を爲し、海島棉、陸地棉共に之を栽

して臨分す。此の外落花生、甘語等を試作しつゝあり。 培し、前者は反當百五十斤、後者は二百斤の收穫あり。現に五萬斤を生産し、 緑棉と

٠

のの子野

真よる事あるを以て、我社は常に数ケ月分の米鹽を貯藏し、 在活必需品は、主として之を内地より移入するを要す。然るに交通不便なるため、時 • 物資の供給。我社の移住者並に共の家族約一萬二千人に對する米、味噌、 に射利的價格を現し、或は其の購買に不便の場合多し。從つて從業者の生活に脅威を 其他の諸雑貨と共に安價 醤油等の

0

日は中にてい カンラムライヤン南

かるかかたかった。社 會 的 施

利公子在安他力事 民在作方言及 デ州産 将でる (移住者は此設備により多大の便利を事け居れり。

に供給すべく努めつゝあり。其の「筒月販賣高は三萬五千圓乃至四萬五千圓にして、

李金元 招聘し、教育用品を備へ、移住者の子弟に義務教育を授けたす。 一般之一個同

-e

の政志性国といって打持努易会化了ト 田七十三南戸 外原今光七中の

什配店

90

の事となれり。尚生徒の通學には社有鐵道無貨乗車の便を與よ。 子弟の教育に充てつゝありしも、ソンソン校は既に官營となり、 全員の八割を占む。テニアン島には公立小學校の完成に至る迄、 現在はサイバン島に四個の公立小學校あり、我社從業員の子弟四百五十餘名在學し 近く農場に二枚増設 我社の教育所を以て

經營して內外に安價に製氷を供給しついあり。 健康の増進せし事を認むるに至れり。又我社は衞生用、 備をなし、水槽を作り、特に蔬菜の栽培を奬勵せしため大いに罹病者を滅じ、一般に 主として住宅、飲料水の不良、並に蔬菜缺乏に在るが故に、常祉は完全なる住宅の設 病と称するものなく、唯降雨期に於ける脚氣と、平時多少の胃腸疾患あり、此原因は ・衞生。表南洋方面に於けるが如き惡性のマラリャは絕無なるのみならず、 醫療用とを兼ね、製氷工場を 所謂風土

サイバン島には設備の整ひたる官立病院あれども、特に我社は軽症又は外傷患者を 炎天の下遠く此の官立病院に赴くの勢を省かしめ又急病者の場合に應ずるため

名を配置す。 も爲し、偏に保健に意を注ぐと共に、他方勞働能率の向上に努め居れり。現在社醫四 薬品其他レン に、サイバ ン島並にテニアン島に醫務室を設け、醫師、藥劑師、 トゲン等の醫療機具を備へ、從業員並に家族の治療を行ひ、 産婆、看護婦を置き 或は往診を

ニュースを基としてラジオ新聞を發行し、 とを得。又ラジオ受信機を設けて、 に資せんと努めつゝあり。又銃獵、魚釣り、網獵、海水浴等は年中隨時之を樂しむこ 面に對しては、野球、庭球、劍道、 餘典、饗應又は懸賞競技等を催し、 ども、我社は屢々各部落に活動寫真の巡囘映寫を試み、或は一年數囘慰安會を開き、 ・慰安。内地を離るうこと干敷百海里の海島なれば、慰安の乏しき事は誠に遺憾なれ 直接内地のニュース、音樂等を傳ふるの外、此の 柔道、弓術等を奬勵する等、體育並に品性の向上 島の祭日として一日の愉樂を盡さしむ。又工場方 種々の記事を掲げ移民を善導し居れり

- 本事業の將來

場を建て、ロタ島にも工場を建つる豫定なり。尚製糖工場の新設擴張は、副産物たる のみにして、前途倚頗る多望なるものあるなり。製糖の方面に在りてはサイバン、え 三我駐の經營は前述の如く三島の内サイバン島並にラニアン島の一部に手を染めたる 糖蜜の増達を來し、從つて酒精事業の發展を伴ふ事は言を俟たざる所なり。 ニアン兩工場の外、サイバン工場を擴張し、尚近き將來に於てテニアン島に更に一工

動からざるべしと信ず。 増加し、其婦女子を以て之に當らしむることを得るに至らば會社、移住者雙方の利益 勢力問題に惱み、未だ大規模の經營に着手するに至らざれども、今後移住者の人口も 稿作の有望なることは、數年に互る試作に依り確瞪を得たれども、摘花期に於ける

一牧牛、養豚は今後益々發展すべく、熊園に於ける間作物の研究にも力を注ぎ、以て

農家の福利を計り居れり。

者の福利増進に努むる覺悟なり。 らしむべく総えず努力を重料率れるも、今後は益々此方面に種々の施設を購じ、移住 **投社は移住者の生活を安園にし、且兎もすれば案裏に陥り易き殖民地生活に測ひあ**

八、 本群島の産物と内地との經濟關

ものを掲ぐれば 入せられたるも、非額は朱だ九十萬間に達せず、頗る彼々たるものにして、非主なる • 本群島の産物は、我海軍の占領以前に於て、既に獨逸系の商育に依貞多少我國に輸

高 间 同 年額約 六、〇〇〇崎 五六〇順 100% 同 價格 Hi 萬

至り、 功して以來、各種事業の典起を促し、年額千五百萬圓內外の産物を内地に移出するに 濟的利用價值大いに疑問視せられ居りたる本群島中より、我社が拓殖製糖の事業に成 人商會により之を取扱ふことゝなり、正貨の流出を阻止したるのみならず、今日迄經 したるものなりで然るを委任統治となるに及び、南洋廳の設置以來は、轉じて總で邦 にして極めて振はず、而も此等の産物は外國貿易品として國內の正貨を海外に送り出 而も我社の發展に連れ、 將來益々增加せんとするの趨勢にあり。即ち

		CE	10 lk	
酒	砂	炸鲱	1000	ti
		號(南洋	7	本
酒		虢(南洋廳直營)	·	北京 本意 力运作
	糖	D	9	4
	」、 出現と	de		
		1		
五	手	百	=	=
五十萬	· 并八十萬四年 医 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	有三十萬四	百	+
萬	西	丁萬	百萬圓	十二萬日
M	回	回	Ш	D
		の製造な関われ		
	A STATE	野		
		0		

手四百八十萬圓

事を得るは、正に過剰人口調節上喜ぶべき事なりと信ずるなり。 千人の移民を收容し、更に將來豫定事業の進展に伴ひ、三三萬人の新移住者を植うる し、過剰人口の調節を計らざるべからざる秋に當り、我社は既に現狀に於ても一萬數 刻下我國は急激なる人口增加に苦み、生活難は彌々峻烈味を加へ、思想は益々惡化

斯くて我社の經營する處、徽力年ら我經濟界に貢献なしとせざるは、欣快に耐へいる 糖田港税を納むる迄に至りたるも、近る將來に於ては其額四百萬回以上にも達すべく 尚南洋廳は管内糖業に力を致され、我社は既に現在に於ても年額三百萬圓內外の砂

の意味においる。「はっぱり

九、重役及路部配員

九、重役及幹部社員

我社の重役並に幹部社員左の如し 役社長 江

査 役 (常勤) 役

テニアン製糖所長

部大部で活出

事務部長

曲

釶

二國

東京事務所 社 東京市麴町區内山下町一ノ 南洋廳下サイバ 電話銀座 ~ (57) 墨〇兴·墨〇中·墨〇八 一東洋ビルデング内

京

布 水

施野

保 恒

次 路

三五

		東本 東 東 等 別	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
310		· 数 1 生			
京					
排					
審		海 集			
斯		平 別 平 別			
*	100000	同様には、アイトを主義に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に			
18	M _{pr} / m	100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円			
恒	杂。 。《保	MOR-PODE MOX 現得にようシック サップ・ラファ		TW THE	
器	类。	一、流	#(
					The second second

